



NPO PTPL “ともいき” 便り No.129

平成 29 年（2017 年）8 月 23 日発行

■処暑（しよしよ） 8 月 23 日から 9 月 6 日までの節気

「処暑」の節気です。

「処」とは「とどまる」という意味ですので、「処暑」とは「暑さ」がとどまる時季といえます。しかしながら、まだまだ暑いとはいえ、朝方の涼しい風に秋の気配を感じるころでもあります。

しかし、今年の 7 月から 8 月にかけての気候は梅雨の時季と真夏の時季が入れ替わったような例年にはない様相になりました。

この気候不順によって、子どもたちにとってはどんな夏休みになっているのでしょうか。また、農作物や夏物商品にも影響が出始めているようで心配です。

ミンミン蝉やアブラ蝉、つくつく法師などがしきりに鳴いていますが、「カナカナカナ・・」と鳴く蝸（ひぐらし）は秋の季語です。よって晩夏に鳴くイメージですが、実際には 6 月下旬頃から 7 月にかけて発生し、ニイニイ蝉と同じく、他の蝉より早く鳴き始めます。以後は 9 月中旬頃までほぼ連日鳴き声が聞ける蝉です。ちょっと意外でした。

ちなみに蝸といえば、「蝸ノ記」という時代小説をご存知の方もいらっしゃると思います。2010 年 11 月号から 2011 年 8 月号まで「小説 NON」にて「秋蝸」のタイトルで連載されています。著者は葉室麟氏でこの作品で第 146 回 直木三十五賞を受賞しています。

さらに、2014 年には東宝で映画化されています。

この時季によく引用される生き物として「秋茜」も欠かせません。秋茜は赤トンボの代表格で、6 月下旬ごろ、沼地や池などで羽化して高地に移り、夏をやり過ごし、秋の訪れとともに山から群れをなして下りできます。体色も秋の深まりとともに鮮やかさが増してきます。

調べていくうちに、アキアカネに対しナツアカネも生息しているようです。活動時期自体は両種にほとんど差はないようですが、ナツアカネは夏でも低地で

見られるようです。

8月26日（土）～27日（日）には「富士吉田の火祭り」が行われます。北口本宮富士浅間神社と諏訪神社の両社のお祭りです。現在では富士登山の無事を感謝する閉山祭りの意味合いが強い祭りです。

大分、前のこととなりますが、一度、知人に誘われて、この祭りを見に出かけたことがあります。知人の知り合いの家のガレージ前に篝火が設けられ、家族が一堂に揃って酒を飲んだり、料理を食べたり、夏休みの終わりを名残惜しみながら、楽しいひと時を過ごした思い出があります。

この両日には、東京の夏の三大祭といわれる「第36回・浅草サンバカーニバル（26日のみ）」「第61回・高円寺阿波おどり」「原宿表参道元気まつり・スーパーよさこい2017」が開催されます。3つの祭りとも100万人以上の多くの見物客で賑わいます。しかしながら、徳島の阿波踊りのように大規模な敷席がないので、祭りを見に行っているよりは、人を見に行っていると言った方がいい状況です。

最後に、9月1日（金）は、雑節の「二百十日」（立春から数えて二百十日目にあたる）。そして、9月11日（月）は雑節の「二百二十日」（立春から数えて二百二十日目にあたる）。どちらの頃から台風が来襲するようになります。ちょうど稲の収穫前、農家の人たちにとって心配な季節ですね。

異常な天候が続いていますが、処暑に入ったころには35度以上の猛暑日が続く予報が出ています。皆さま、くれぐれも熱中症対策を怠らずに、残り少ない夏をお過ごしください。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

高齢者。

人間は生き延びるために高齢者の豊かな経験や知恵や知識が必要です。古来そのことに価値を見だし、重視してきたのが日本人です。

しかし、最近は高齢者のマイナス面（病気、介護、医療費など）ばかりが強調され、ないがしろにされがちです。もう少し敬う感覚が必要です。

もっと前向きな姿勢で自治体、企業、地域などが高齢者の豊富な経験、知恵、知識を活用していくことを考えるべきです。

そうすれば、高齢者はよりよい社会をつくるため、地域の活性化を図るため、古い文化を継承し、そして新しい文化をつくるためなどに充分、社会に貢献することができるでしょう。

●「ともいき暦」の表紙の1月9日（成人の日）または11月15日（七五三）の○印をクリックして、人生儀礼・通過儀礼・長寿の祝いなどについての文章をお読みください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2017/>



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

- 9月1日（金）は「防災の日」です。1923年（大正12年）の関東大震災からもう今年で94年を迎えます。1995年（平成7年）の阪神・淡路大震災、2011年（平成23年）の東日本大震災とこの100年のうちに日本は3つの未曾有の大地震に見舞われました。このそれぞれの日には、大地震への備えを点検する日にしたいものです。

- 是非、NPO PTPLが企画制作運営するサイト・FBをご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

- NPO PTPLは「ジャパネスク運動」推進中です。

ぜひ、「ジャパネスク」サイトのメニューのひとつの「ジャパネスク語り」
（<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>）をお読みください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp